

**「強度行動障害医療研究会」  
第3回世話人会(Web) 報告**

日時:2022年3月3日(木)19時~20時

参加者:出席29名・委任状5名の計34名(36名中)

(会則による議事成立の基準を満たす)

\* 監事2名(兼世話人の根本様、林様)も参加いただいた

議題:

1. はじめの言葉

世話人代表 日本発達障害ネットワーク 市川 宏伸先生

2. 「強度行動障害医療研究会」現状報告・議題

**\* 入会状況・活動報告**

- 現時点での「強度行動障害医療に関するML」参加者198名、「強度行動障害医療研究会」会員138名、うち世話人36名(現時点)

**\* 会計報告・次年度予算(案)に関連して**

- 令和3年度の会計報告については別紙の通り、収入276,000円、支出116,606円、次年度繰越金159,394円となり、内容について監事2名に監査いただき適正と判断された。以上報告し、世話人により承認された(事務局より報告)。
- 次年度予算案についても別紙の通り、繰越金・会費納入予定額を入れた収入見込み、支出予定項目について報告し承認された(事務局より報告)。
- 今後「強度行動障害医療研究会」としての社会的役割・情報発信のため、一般社団法人化を目指している。肥前精神医療センターで代行している諸経費、今後の対面での会合を想定すると、現在の収入では運営経費に十分とは言えず、会費の値上げも検討すべきとの意見あり(杠副代表)。
- 「強度行動障害医療研究会」は医師のみでなく、多分野・多職種による研究会のため、一般会員の会費値上げについては慎重にすべきとの意見あり。「強度行動障害医療に関するML」のみ参加している方に勉強会の参加費を徴収するなども検討してはどうか(田淵世話人)。
- 会員を増やす事を優先するのであれば、一般会員の会費は値上げせず、中核メンバーから徴収を増やすことを検討しては？また大会やイベント参加費を徴収する事で対応してはどうか(井上世話人)
- イベントごとの参加費徴収については、ネットでの徴収システム(パスマーケットなど)も利用しやすい。会費増額については当研究会の参加意義について、より強度行動障害に特化した企画を練り、かつ各参加者の意識の温度差も踏まえて

検討していく必要がある(高橋世話人)

- 行政等への発言を行っていく事を考えると、一研究会というだけでなく、組織としての社会的立場の明確化(法人化)は重要と考える(市川裕二世話人)
- まず世話人のみ会費を値上げし 5,000 円とする事を事務局より提案し、承認いただいた(これに沿って上記予算案を修正することも同時に承認)。
- 「強度行動障害医療に関する ML」メンバー(非会員)の勉強会参加等については、システムが確立できた時点で、参加費徴収を検討する方針となった。

#### \* 2021 年度活動報告 2022 年度年間スケジュール(案)について

- 2021 年度活動報告については、年間スケジュールの通り、勉強会 3 回、12 月総会終了。第 3 回世話人会と、会員用 ML での会計報告・予算案共有、をもって今年度の活動は終了(事務局より報告)
- 「看護分科会」(KYOKAN)について、コアメンバーでの会議を毎月開催しており、研究・研修(看護師)の企画をしている。今後も周知・お知らせ予定(根本世話人)
- 2022 年度年間スケジュールについては、別紙参照。3 回の勉強会を企画予定、また「医師分科会」として 2 ヶ月に 1 回一時間程度の意見交換の場を設定予定。2022 年 12 月に総会実施も承認された(事務局より)
- 令和 4 年度第 1 回勉強会のテーマとして、「強度行動障害の環境調整」について会員の川中氏(長崎大学大学院)より行うのはどうか。建築・設計に関係した方からも話題提供いただけるのでは無いかと思う(岩永世話人)

#### \* その他運営について

- 琉球病院の遠藤世話人より、自身のクリニック開業・職場変更にあたり、同院の島袋高子医師に世話人を交代する旨提案あり、世話人会で承認された。

### 3. おわりの言葉

世話人副代表 肥前精神医療センター 杠 岳文院長

①以上約 55 分の会議・決議を行った。本報告と別添資料を持って研究会員に周知・共有する予定。内容子細については録画動画も保管しておく

②下線部は正式な承認事項として、今後の予算案・活動及び会則に反映する

(文責:事務局長 會田千重)